

2023年8月14日
株式会社 電通グループ
代表執行役 社長 CEO 五十嵐 博
(東証プライム市場 証券コード：4324)

2023年度通期連結業績予想の修正および 剰余金の配当（中間配当）の決定に関するお知らせ

株式会社電通グループ（本社：東京都港区、代表執行役 社長 CEO：五十嵐 博、資本金：746億981万円、以下「当社」）は、本日開催の取締役会において、2023年2月14日に公表した2023年度通期（2023年1月1日～12月31日）の連結業績予想の修正ならびに剰余金の配当（中間配当）を決定いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

1. 通期連結業績予想の修正

(1) 2023年度通期連結業績予想の修正（IFRS基準、2023年1月1日～12月31日）

(△は減少)

	今回修正 予想(A)	前回(2月)発表 予想(B)	増減額 (A-B)	増減率 (%)	(ご参考)前期実績 (2022年1-12月)
収益(百万円)	1,276,000	1,272,500	+3,500	+0.3	1,246,401
売上総利益(百万円)	1,153,300	1,161,400	△8,100	△0.7	1,119,519
調整後営業利益 ^{※1} (百万円)	195,500	203,800	△8,300	△4.1	204,307
オペレーティング・ マージン	17.0%	17.5%	△50 bps		18.4%
調整後当期利益 (親会社の所有者に帰属) ^{※2} (百万円)	122,100	122,100	—	—	130,835
基本的1株当たり 調整後当期利益(円)	461.84	461.84			488.24
営業利益(百万円)	126,500	154,300	△27,800	△18.0	117,617
当期利益(親会社の所有者に帰属) (百万円)	69,200	77,100	△7,900	△10.2	59,847
基本的1株当たり 当期利益(円)	261.75	291.63			223.33

為替換算レート

	今回修正 予想(A)	前回(2月)発表 予想(B)	増減額 (A-B)	増減率 (%)	(ご参考)前期実績 (2022年1-12月)
1USD	135.8円	130.2円	+5.6円	+4.3	131.4円
1GBP	168.6円	159.6円	+9.0円	+5.7	161.9円

注：※1～※2は、次頁を参照。

為替換算レートに関して、2023年度業績予想の今回修正予想は2023年1-7月平均、前回発表予想は2023年1月平均、2022年度実績は2022年1-12月平均を採用。

(2) 2023 年度通期連結業績予想の修正背景

当社グループの上期業績が期初の想定を下回ったこと、および下期見込みを若干慎重に見直したことから、通期の目標としては、オーガニック成長率を5月時点目標「1~2%」から「0%~△2%（0%以下、マイナス2%以上）」へ、オペレーティング・マージンを2月時点目標「17.5%」から「17.0%」へ修正する。また、これに併せて、今年2月に発表した連結業績予想においては、「親会社の所有者に帰属する調整後当期利益」および「基本的1株当たり調整後当期利益」以外の各項目を上記のとおり修正する。

営業利益を修正した主な要因は、調整後営業利益の下振れに加え、日本を除く APAC ののれんの減損損失の計上による。当期利益（親会社の所有者に帰属）が、営業利益に比べて下方修正率が低いこと、および「親会社の所有者に帰属する調整後当期利益」および「基本的1株当たり調整後当期利益」を据え置く理由は、主に買収企業の新規連結と、5月より開始したグループ内の資金提供方法の見直しによる「金融コストの適正化施策」の実施効果（当年度で40~50億円規模の金融費用削減を予定）。

※：上期業績（2023年1月1日~6月30日）の詳細については、同日公開のニュースリリース「2023年度第2四半期連結決算（IFRS）に関するお知らせ」を参照。

2. 剰余金の配当（中間配当）の決定

(1) 2023 年度配当予想および中間配当（IFRS 基準、2023 年 1 月 1 日~12 月 31 日）

	2023 年度		
	中間配当	期末配当（予想）	年間（予想）
1株当たり配当金	78.5円	78.5円	157.0円
配当性向 [※]			34.0%

（ご参考）2022 年度実績：中間配当 70.25 円、期末配当 85.00 円、年間 155.25 円。配当性向 32.0%。

(2) 2023 年度中間配当について

当社は、中期経営計画において、基本的1株当たり調整後当期利益に対する配当性向を、2024年度に35%まで漸進的に高めていくことを掲げている。この方針に基づき、2023年度の配当性向は34.0%を目標としている。基本的1株当たり調整後当期利益の通期目標461.84円は維持することから、1株当たり予想年間配当金は、2月発表の157.0円（上場来最高額）を据え置く。この度、中間配当は年間配当金予想の半額である1株当たり78.5円と決定した。

※1. 「調整後営業利益」は、営業利益から、『買収行為に関連する損益』および『一時的要因』を排除した、恒常的な事業の業績を測る利益指標。『買収行為に関連する損益』：買収に伴う無形資産の償却費、M&Aに伴う費用、完全子会社化に伴い発行した株式報酬費用。『一時的要因』：構造改革費用、減損、固定資産の売却損益など。

※2. 「親会社の所有者に帰属する調整後当期利益」は、当期利益（親会社所有者帰属分）から、営業利益に係る調整項目、条件付対価に係る公正価値変動額（アーンアウト債務再評価損益）・株式買取債務に係る再測定額（買収関連プットオプション再評価損益）、これらに係る税金相当・非支配持分損益相当などを排除した、親会社所有者に帰属する恒常的な損益を測る指標。

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通グループ グループコーポレートコミュニケーションオフィス 小嶋、杉浦、松永

Email: group-cc@dentsu-group.com